

原発使用済燃料プール漏れなど地下水汚染事件リスト

1976.11.29 ミルストーン 1号機

電力会社は、米国原子力規制委員会（NRC）に原子炉建屋近くの廃棄油槽からおよそ450ガロンの放射能汚染水が汲み上げられたと報告した。使用済燃料プールから不注意にも放射能汚染水があふれ、ちょうど使用済燃料プールの表面より少し高いところにつけられた換気管に流れ込んでいた汚染水は、配管から再循環ポンプ装置の台とポンプの油抜きに流れ込んだ。

1977.08.02 ピルグリム 1号機

使用済燃料プール内の樹脂が廃棄樹脂蓄蔵タンクに運ばれる間に、放射能汚染水が開いた通気口の弁から放射性廃棄物運搬車の安全装置ドア外の舗道に流れ落ちた。飛び散った汚染水はふきとられ、アスファルトの舗道は舗装された。

1983.03.03 ピーチボトム 3号機

原子炉の燃料交換時に原子炉キャビティに水を満たし使用済燃料プールと連結しているとき（注：使用済燃料プールとの間の燃料輸送通路を開いているとき）残留熱除去ポンプAとBが不注意で動き始めた。原子炉容器に注入された水がキャビティからあふれた。あふれた水のいくらかが設備のハッチから伝わり落ちて、貨物車倉庫のしきり戸の下をくぐり、排水溝に入り、そして川へ流れ出した。

1983.04.21 フォートカルホーン 1号機

脱塩された水の供給システムにつながるホース口が燃料交換用管につながり、原因不明の理由によりホース吹き出し口が開き、燃料交換用水が管からあふれ、使用済燃料プールに入った。使用済燃料プールはあふれ、安全注入兼燃料交換用水タンクに入った。燃料交換用水タンクがあふれ、汚染水が燃料搬送用ドアの下を通り、外の地面に流出した。

1986.00.00 サンオノフレ 1号機

作業員たちが、使用済燃料プールの内張からしみ出した水が漏出水回収装置と（検出用）井戸を満たしていることを見つけた。放射能汚染水は使用済燃料プールのコンクリートの壁をとおりぬけ、燃料取扱建屋に隣接した厚いコンクリートの外壁からにじみ出た。使用済燃料プールの内張はエポキシ樹脂で補修された。

1989.00.00 ドレスデン 2号機

放射能汚染水はドレスデン 1号機の使用済燃料プールがあふれたときに漏えいした。

1990.05.17 オコニー 1号機

およそ1万ガロンの放射能汚染水が1号機と2号機の使用済燃料プールからあふれ出し、放射性核燃料輸送容器の除染ピットや補助建屋の他の領域に流れ込んだ。約60ガロンのあふれた汚染水が使用済燃料プールの交換室の床排水口を通過して、衛生下水処理貯水池に流れ込んだ。他の50ガロンが燃料を受け入れる貨物の巻き上げ式ドアの外の舗装道路にあふれた。

1990.05.17 オコニー 2号機

(オコニー 1号機と同じ)

1997.05.21 ウォーターフォード 3号機

およそ800ガロンの放射能汚染水が弁の配列の手違いで使用済燃料プールよりあふれ出し、地面に流れ落ちた。

2001.00.00 ウォルフクリーク 1号機

作業員が使用済燃料プールのステンレス製の内張からの汚染水の漏えいを発見した。漏れた水は漏えい検出回収装置に流れ込んだ。これは使用済みプール内張り漏洩の3度目の発見である。そのときどきに内張は修理されている。

2002.12.00 セーレム 1号機

作業員が、放射能汚染水が1号機の使用済燃料プールから漏れて地面にこぼれているのを発見した。

2005.10.31 ハダムネック

電力会社は、放射能汚染水が使用済燃料プールから地面に漏れている兆候について原子力規制委員会(NRC)に報告した。

2006.05.30 アーカンソー・ニュークリア・ワン 2号機

2号機の使用済燃料プールの傾斜ピットがホウ酸管理用滞留タンクから過剰注入されたとき、放射能汚染水が放射線管理区域外の2つの部屋に入り込んだ。

2006.07.31 エドウィン I . ハッチ 1号機

電力会社の報告によれば、放射能汚染水が次の場合に地面に漏えいした。ビル建設時に埋設管の放射性液体輸送ラインが破れたとき。廃棄された埋設管の漏れ。放射性水貯蔵タンクの移送用ポンプのシールが破損したとき。使用済燃料プールの拡張ジャバラのガス抜き。外部の放射性水タンクの漏れ。汚染区域周辺の制約領域でオーバーフロ

ーした脱塩水システムの隔離弁からの漏れ。

2006.07.31 エドウィン I . ハッチ 2 号機
(エドウィン I . ハッチ 1 号機と同じ)

2006.07.31 インディアンポイント 1 号機

電力会社の報告によれば、過去において次の場合に放射能汚染水が漏れていた。 使用済燃料プールから土壌へ。 1 号機の汚水浄化フィールドからの汚染された土を溜めている貯水池区域から土壌へ。

2006.07.31 インディアンポイント 2 号機

電力会社の報告によれば、放射能汚染水が過去に 2 号機の使用済燃料プールから漏れていた。

「アメリカの憂慮する科学者同盟 (UCS)」の資料 (2010.5.28)

訳責：玄海原発プルサーマル裁判の会